



1960年、ベトナム政府外務省のもとで、外務省及び通商省のための人材養成機関を目的として設立された国立大学。

ベトナムでは最難関とされる大学の一つである。1963年までは外務省の国際交流部門に所属していた歴史もあり、伝統的に英国、米国、豪州との関係が深く、外交官や政治家、その他各界のリーダーを輩出している。日本語教育も充実しており、日越間での経済人材交流の拠点校と言える。

ハノイ貿易大学への留学ってどんな感じ？

どうしてハノイ貿易大学を選んだの？

明治大学では学ぶことができない、経済発展著しい東南アジアの国の経済について興味があったからです。また、ハノイは過去2回の渡航である程度のことを知っており、かつ2年前に1年間貿易大学に留学していた先輩がゼミにいたり、ゼミの担当教授がハノイの別の大学で客員教授をしていることから、個人的にハノイとのつながりが非常に強かったからです。渡航前に多くのベトナム人の大学生と接してきた中で、ベトナム人が非常に勤勉だということも知っていたので、学習環境という面でも切磋琢磨できる部分があると考えました。実際に、そのイメージは間違っていました。

大学・学生の雰囲気

とても明るい生徒が多く、大学は常に活気にあふれています。貿易大学には数多くのクラブがあり、平日休日関係なく、楽器の演奏やビデオ撮影などのパフォーマンスを行っている学生が多くいました。授業では気軽に声をかけてくれる学生も多く、学外でもカフェやレストランに一緒に行ったりなど、すぐに親しくなることができました。

大学での授業について

貿易大学の授業は学生同士の共同作業が不可欠です。授業時間外にも共に課題に取り組むことで、多くのベトナム人学生とつながることができます。この授業スタイルは、家族・親戚や友達とのつながりが強いベトナム文化を反映しているものだと思います。

留学を考えている人へ

一度留学に興味を持ったら、迷わずチャンスをつかもうとすることが大切だと思います。明治大学はさまざまな国や学校と協定を結んでおり、留学に適した環境にあります。留学してみたいけれど、留学することが本当に役に立つのかと考えている人もいるかと思いますが、しかし、目まぐるしく変化を続ける今の世界で、今すぐに役に立つことは、すぐに役に立たなくなってしまうと思います。逆に、今後のさまざまな場面のなかで、大学時代の留学が役に立つこともあるでしょう。留学に関しても、より幅広い視点で見つめ直せば、留学に関する捉え方を変えることにつながると思います。

(2017年度 参加男性)

ある1日のスケジュール

06:00	起床
06:45	午前授業開始
12:00	昼食
13:00	カフェで自習
16:00	アルバイト
19:00	同僚と外出
0:00	就寝

大学についてより詳しく知りたい方は
こちらをご覧ください！

FOREIGN TRADE
UNIVERSITY
(英語サイト)

